

外国産コウガイビル *Bipalium kewense* と *Bipalium adventitium* の形態と分類

川勝正治 (藤女子大・短大・生)

Morphology and taxonomy of *Bipalium kewense* and *Bipalium adventitium* from the United States

MASAHARU KAWAKATSU

Bipalium kewense MOSELEY, 1878 はヴェトナム・カンボジア地域の原産と考えられているコウガイビルで、有性生殖と無性生殖を行う。植物に付着して、人為的に分布域が広がり、現在では南北両半球の世界各地から記録されている。川勝は東京産のコウガイビル (*Bipalium* sp.; 新種記載中) を *B. kewense* と誤認したことがある。他方、未同定であるが、沖之永良部島産・沖縄産・台湾産の標本中には *B. kewense* でないかと考えられる虫も含まれている。日本産のコウガイビル類を研究するに際して比較のための標本が必要であると考え、アメリカ国立自然科学博物館所蔵の同定済みの *B. kewense* (4産地) と近似種である *Bipalium adventitium* HYMAN, 1943 (1産地) を譲り受けて、それらの形態を調べた。前種はブラジル産とオーストラリア産の未成熟個体も観察した。

B. kewense の背面の基色は淡茶複色で、5本の濃紫黒色の縦線模様がある。中央の1本は頸部後方から尾端近くまで広がり、細いが咽頭と生殖器官部ではやや太い。その左右の2本は太く、尾端まで達し、頸部の体側では幅の広い濃色模様を形成している。体側縁の線は細く、尾部では破線状になる。腹面に2本の線模様がある。コロンビア州産の虫(固定標本で74mm, 本幅3.5mm)で、陰茎基部は大形、突起部は細くて短い。陰茎腔と雌性腔は広い。*B. adventitium* は背面正中線に沿って淡茶色の縦線模様があり、腹面は無模様である。ペンシルヴァニア州産の虫(固定標本で30mm, 体幅4mm)で、陰茎はよく発達し、特に突起部は大形で円錐状、陰茎腔はチューブ状である。雌性腔は中等度に発達している。両種共に精巢は腹位で、卵巣後方から咽頭基部まで分布する。

東南アジアの *Dugesia* 属 (淡水棲二岐腸類) の染色体と分類 VII. 日本の22地点のナミウズムシ

田村幸子, 山吉孝雄, 沖 岩四郎 (大阪公衛研), 村山 均 (長岡大手高), 戸田英雄 (浜松市高), 川勝正治 (藤女子大)

Karyological and taxonomic studies of the *Dugesia* species in Southeast Asia VII.

SACHIKO TAMURA, TAKAO YAMAYOSHI, IWA-SHIRO OKI, HITOSHI MURAYAMA, HIDEO TODA, MASAHARU KAWAKATSU

日本の22地点から追加採集したナミウズムシ *Dugesia japonica japonica* の染色体を押しつぶし法で観察した。採集地点: 両津市黒姫, 同大野亀, 新潟県佐渡郡相川町, 長岡市成願寺町, 同栖吉町, 横浜市獅子ヶ谷町, 逗子市神武寺, 清水市鉄舟寺, 浜北市八丁谷, 同新屋土取, 同梶池, 浜松市半田町, 同伊佐地町, 同三ヶ日町, 同南有玉町, 湖西市大知波, 茨木市車作, 同竜仙峽, 泉南市童子畑, 大阪府泉南郡岬町, 神戸市住吉, 鹿児島県始娘郡霧島町。

これらの材料による染色体観察の結果は以下の通りであった。1) 一種類の核型から成る個体: $2x=16$ (38匹), $3x=24$ (11匹), $3x+1$ LB=25 (6匹), $(3x-1)+2$ LB=25 (4匹); 2) 混倍数性個体: $2x=16$ & $3x=24$ (21匹), $2x=16$ & $4x=32$ (1匹); 3) 混異数性個体: $(2x-1)+1$ LB=16 & $2x=16$ (1匹), $2x=16$ & $2x+1$ LB=17 (1匹), $(3x-1)+2$ LB=24 & $(3x-1)+2$ LB=25 (4匹), $3x+1$ LB=25 & $(3x-1)+2$ LB=25 (4匹), $3x+1$ LB=25 & $(3x-1)+2$ LB=25 & $(3x-1-1)+3$ LB=25 (3匹), $3x+1$ LB=25 & $(3x-1)+2$ LB=25 & $3x+2$ LB=26 (2匹), $3x+1$ LB=25 & $(3x-1)+2$ LB=25 & $(3x-1-1)+3$ LB=25 & $3x+2$ LB=26 (10匹)。

上記のうちで、今回新たに検出された核型は $(2x-1)+1$ LB=16 & $2x=16$ (長岡市栖吉町産), $2x=16$ & $2x+1$ LB=17 (清水市鉄舟寺産), および $(3x-1-1)+2$ LB=24 & $(3x-1)+2$ LB=25 (茨木市車作, 同竜仙峽産) の3種類である。また、染色体数25で、3種類の核型の細胞が混在する異数性個体(大阪府泉南郡岬町産)に雄性系の減数分裂像と精子が観察された。